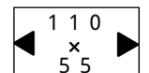
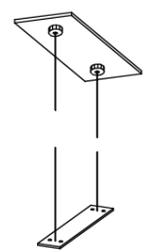
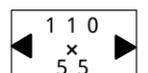
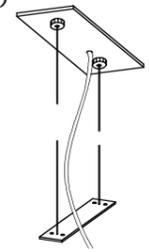


## 定格表

()内は200Vの場合です									
器具モデル	カタログ番号	型番タイプ	色種	使用電圧	入力電流	消費電力	適合ランプ (同梱品)	昼白色	質量
連結 エンド	1274mm	F-045W	04FB-18B8-2W	W: ホワイト AC100/200V 50/60Hz	1.06A (0.53A)	105W (104W)	G5蛍光ランプ FHF54W×2		4kg
連結 中間	1177mm	F-046W	04FB-19B5-2W						

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

## オプションパーツ

<p>ワイヤー吊フランジ Z1122 04FZ-24B6-Z0</p> <p>切込寸法</p>  <p>110 x 55</p> <p>エンド・中間 共用 F-045W F-046W</p> 	<p>ワイヤー吊フランジ (給電付) Z1123 04FZ-25B3-Z0</p> <p>切込寸法</p>  <p>110 x 55</p> <p>エンド用 (給電) F-045W専用</p> 
--	---

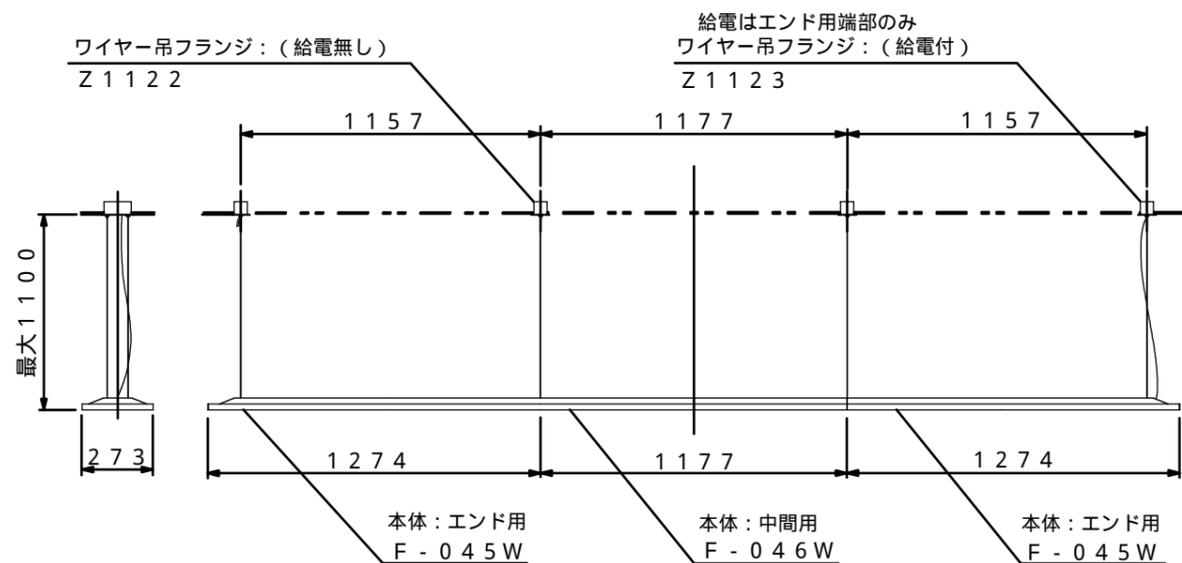
## 器具取付寸法

単体での使用はできません。エンド用2台での組み合わせ、またはエンド用2台+中間用の組み合わせでご使用ください。

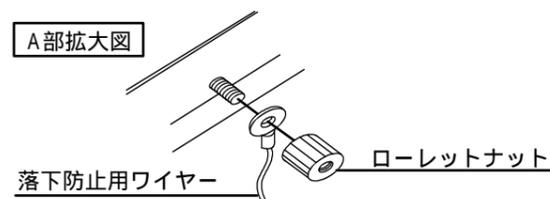
構造上の連結台数は16台まで、これ以上連結の場合は振れ止め等の施工が必要となりますので、特注仕様にて別途ご相談ください。

電源の送りをする場合は1回路につき10Aまでの接続が可能です。100V給電の場合は8台まで、200V給電の場合は16台までの接続が可能です。

給電は必ずエンド用の端部に設定してください。中間連結部では給電できませんので、ご注意ください。

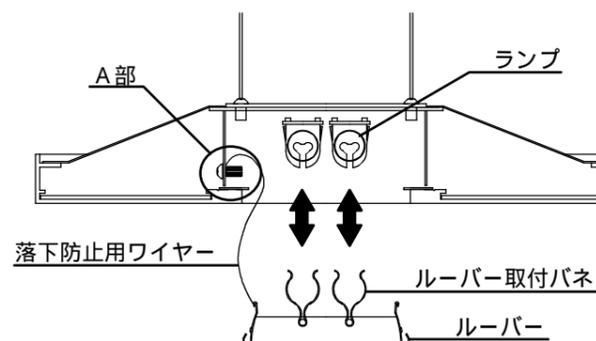


## ルーバーの取付・取外し方法



ルーバーを取付る。

左図のように、落下防止用ワイヤーを(ルーバー1本につき2ヶ所)ローレットナットで固定します。



ルーバー

取付方法・・・静かに扱い、ルーバー取付パネをランプに断面図のように押し上げセットします。

取外し方法・・・静かに扱い、ルーバーを下に引き抜きます。

ルーバーの表面は大変、傷がつきやすくなっております。柔らかい布が手袋を使って扱ってください。

落下防止ワイヤーは必ず固定してください。不備があると落下等の原因となります。

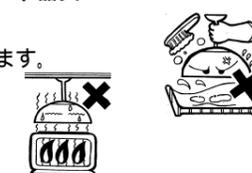
## 照明器具ご使用についての安全上のご注意

### 警告

	<p>感電のおそれがあります ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。</p>	
	<p>感電・火災のおそれがあります 異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。</p>	
	<p>感電・火災のおそれがあります 器具及び部品の改造をしないでください。 器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。</p>	 
	<p>やけどのおそれがあります 点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。</p>	
	<p>火災のおそれがあります 器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。 器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。</p>	

### 注意

器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の落下によるけがの原因となることがあります。ランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となることがあります。明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。



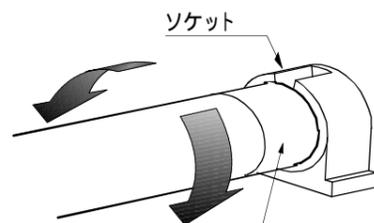
## ランプ交換のしかた

**△注意** 必ず電源を切って約10分待ってから行ってください。  
感電・やけどの原因になります。

**適合ランプ** G5口金 (同梱ランプは昼白色です)  
T5(16mm)管蛍光灯 FHF54W

5ページのルーバー取付・取外し方法を参照してルーバーを外し、下からランプ交換を行ってください。

必ず上記の適合ランプを使用してください。  
誤って使用しますと、火災・不点灯・器具の破損のおそれがあります。



蛍光ランプ 口金部  
ソケットは回転式です。  
90°ランプを回して着脱します。  
細い蛍光管につきランプのお取り扱いには、充分にご注意願います。

## 保守とお手入れ

**△注意** 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足(光束不足)を生じることがありますが、故障ではありません。

時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。

ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。

早めにお取り替えください。

ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。

- ・スイッチが入っているか?
- ・ランプがソケットに確実にハマっているか?
- ・ランプが切れていないか?

## お願い

器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。

ぬれた手で器具に触らないでください。

ガラス・陶磁器類は、こわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

**yamagiwa**

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ 〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号  
リビナ本館 TEL(03)3253-5111(代表)  
東京営業部 〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号  
TEL(03)3253-5143(代表) ヤマギワリビナ本館  
外商営業本部 〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号  
TEL(03)3253-5150(代表) ヤマギワリビナ本館  
札幌営業所 〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西1丁目10番地  
TEL(011)221-1321(代表) ビア2 1ビル7階  
仙台営業所 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2丁目1番61号  
TEL(022)227-1251(代表) 第5タカノビル8階  
横浜営業所 〒231-0015 神奈川県横浜市市中区尾上町6丁目8番1号  
TEL(045)664-2871(代表) 尾上町スカイビル503  
ヤマギワ 〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目2番20号  
名古屋 TEL(052)931-2111(代表)  
名古屋営業所 〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目2番20号  
TEL(052)931-3223(代表)

ヤマギワ大阪 〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町3丁目6番6号  
TEL(06)6258-6711(代表) 御堂筋センタービル1・2階  
近畿営業部 〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町3丁目6番6号  
TEL(06)6258-6721(代表) 御堂筋センタービル2階  
金沢営業所 〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号  
TEL(076)222-6733(代表) 明治安田生命金沢第二ビル5階  
高松営業所 〒760-0062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号  
TEL(0878)39-3195(代表) クリエイトビル302  
広島営業所 〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里1丁目1番68号  
TEL(082)568-5371(代表) 広島パレスビル2階  
福岡営業所 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号  
TEL(092)721-5661(代表) ORE福岡赤坂ビル7階  
宇都宮出張所 〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号  
TEL(028)638-1002 マスミトータルビル2階  
高崎出張所 〒370-0071 群馬県高崎市小八木町200番5  
TEL(0273)62-6920 三恵レジデンス107  
静岡出張所 〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号  
TEL(054)273-5305 ローズガーデン406

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1080

## 取扱説明書

FL LINE TYPE-L ルーバーモデル

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

## 目次

- 1ページ : 照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意  
2ページ : 定格表・オプションパーツ・器具取付寸法  
3ページ : 部品名称・器具の取付方法  
4ページ : 器具の取付方法(つづき)  
5ページ : ルーバー取付・取外し方法・照明器具ご使用についての安全上のご注意  
6ページ : ランプ交換のしかた・保守とお手入れ・アフターサービス

## 照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意

## △警告



**火災のおそれがあります**  
電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。  
電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。

**落下によるけがのおそれがあります**  
取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。  
器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。  
強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。

**感電のおそれがあります**  
工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。  
ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。  
アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。



**火災のおそれがあります**  
器具に表示されている以外のランプを取付ないでください。



**落下によるけがのおそれがあります**  
傾斜した天井や船底天井、及び取付部のまわりに極端な突出部のある天井に、器具を取付ないでください。

## △注意

電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。  
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。

取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。  
器具落下によるけがの原因となることがあります。

ランプ・ルーバーの着脱は、両手で静かに扱い、取付は、確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。  
この器具の安定器は、調光用に対応していません。調光器を使用しないでください。

火災の原因となります。

この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。  
屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。

器具取付の際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。器具落下によるけがの原因となることがあります。  
アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。  
感電・火災の原因となります。

## お願い

電気工事店様へ  
工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

**ワイヤー調整方法**

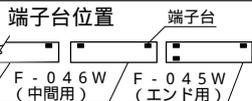
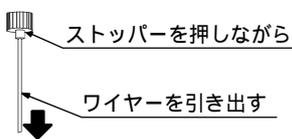
ワイヤーを短く調整する場合  
 下図のようにワイヤー調整具にワイヤーを押し込んでください。  
 この時、必ず器具本体は支えながら行ってください。



ワイヤーを長く調整する場合  
 器具本体をしっかり支えながら、下図のようにワイヤー調整具のストッパーをゆるめて、器具の位置を下げるように調整してください。

**△注意**

ストッパーを押し上げての間ワイヤーはロックされませんので器具の重さで一気にながってしまいます。吊り長さを長くする時は必ず器具本体を支えながら調節を行ってください。



(注意)  
 連結時、左図のように本体：中間用(F-046W)は端子台位置が片側に設置されていますので、確認してから連結してください。

**ワイヤー長を調整する**

吊りワイヤーは、2ページの【器具取付寸法】を参照して、MAX1100mmの間で、器具を吊下げる高さになるように調整します。不備がありますと、器具落下の原因となります。左図のワイヤー調整方法を参照して、ワイヤーを調整します。

**器具本体と本体を連結する**

(図3)を参照して連結してください。カバーを固定しているカバー固定ネジを緩め(外さないでください)(カバー1枚につき2本)、カバーを取り、本体と本体を同梱の連結用ボルト・ナットで連結します。

**吊り元金具を**

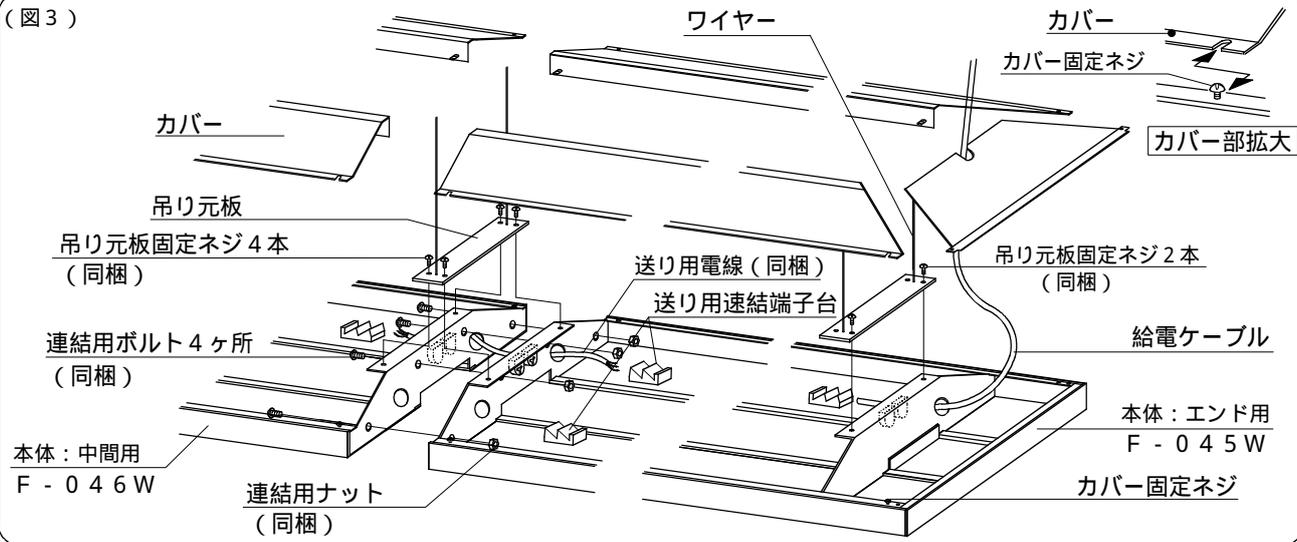
エンド部の場合・・・同梱の吊り元板固定ネジ(2本)で締め付け取付けます。内側の2ヶ所の穴は使用しません。

連結部の場合・・・同梱の吊り元板固定ネジ(4本)で締め付け取付けます。

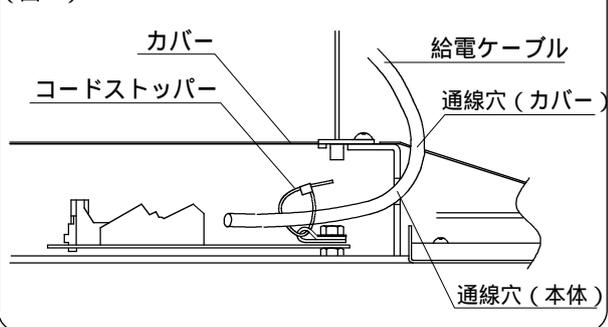
不備がありますと、器具落下の原因となります。

本体と本体の連結は、同梱のネジ・ナット等は指定本数を余さず使用して、確実に固定してください。

(図3)



(図4)



器具を連結して本体間で電源の送りをする場合には必ず同梱の送り用電線を使用して連結する器具の端子台間に電源線とアース線を接続してください。

電源の送りをする場合は1回路につき10Aまでの接続が可能です。

100V給電の場合は8台まで。

200V給電の場合は16台まで。

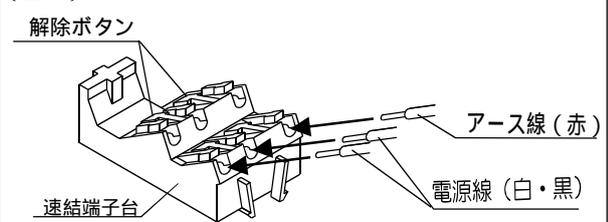
の接続が可能です。

構造上の連結数は、本体が16台まで。

これ以上の連結の場合は振れ止め等の施工が必要になりますので、特注仕様にて別途ご相談ください。

また、(図5)に従い、速結端子台のアース端子にアース線を結線してください。不備がありますと感電や火災、器具落下・破損の原因となります。

(図5)



**適合電線は同梱のものを使用してください。**

矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

給電ケーブル線とアース線を端子台に接続する(図4)(図5)カバーの通線穴・本体の通線穴に給電ケーブルを通し、本体内部のコードストッパーに給電ケーブルを固定したうえで、速結端子台に電源コードの電源及びアース線の棒端子を接続します。不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

**カバーを取付る**

カバーを戻し、カバー固定ネジ(カバー1枚につき2本)で締め付け取付けます。

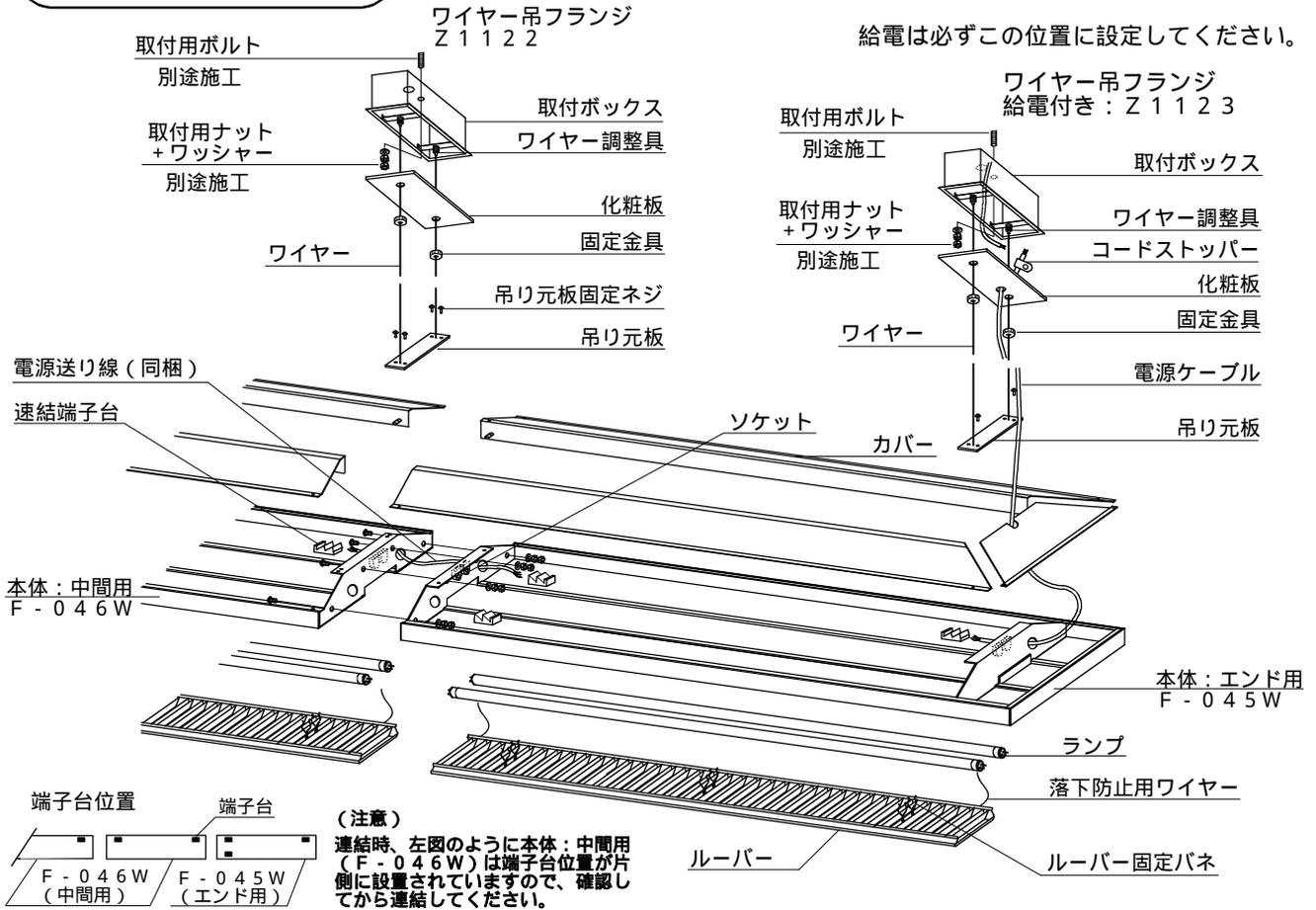
**ランプを取付る**

6ページのランプ交換のしかたを参照して適合する蛍光灯ランプをお確かめのうえ、ソケットに取付けてください。

不備がありますと、感電や火災、不点灯の原因となります。

**△注意** 必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

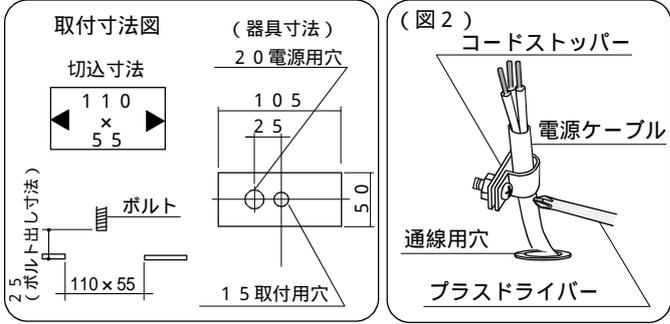
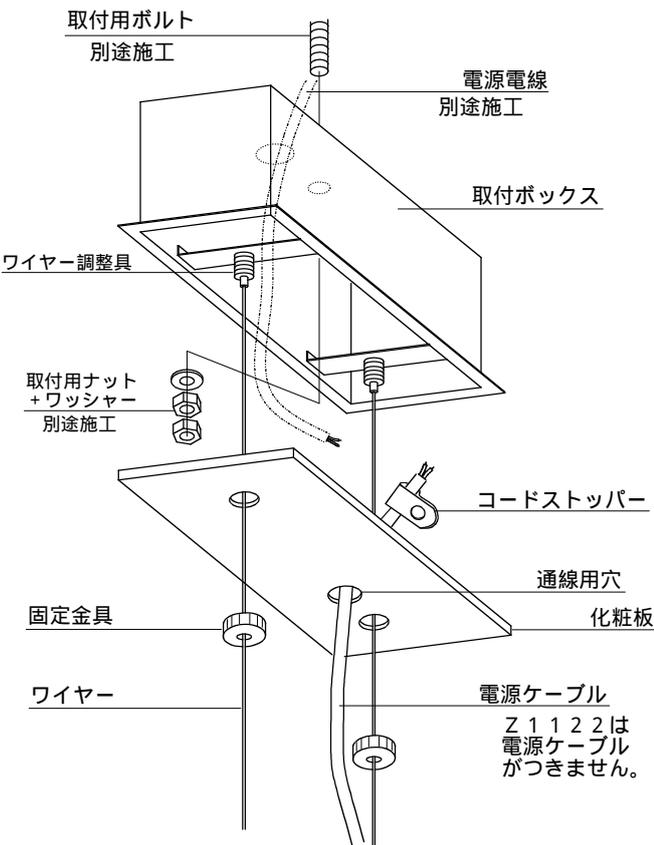
# 部品名称



# 器具の取付方法

ワイヤー吊りフランジ (給電付き)：Z 1 1 2 3 の場合 (Z 1 1 2 2 は給電コード無しタイプです)

(図 1)



【施工のまえに】

- 1 回路につき 10 A までの電源送りが可能です。
- 100 V 給電の場合 8 台まで。
- 200 V 給電の場合 16 台まで。
- 構造上の連結数は 16 台まで。これ以上の連結の場合は振れ止め等の施工が必要になりますので特注仕様にて別途ご相談ください。
- 取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにしてください。
- 不備がありますと器具落下の原因となります。
- 傾斜した天井には取付できません。

## ワイヤー吊フランジを天井に取付る (図 1)

固定金具を外し、取付ボックスと化粧板を分離し、天井の取り付け場所の強度をご確認のうえ、2 ページの【器具取付寸法】を参照して、適切な間隔を取って取付ボックスを取付用ボルト (別途) で天井に取付ます。給電用フランジの場合は (図 2) を参照して電源ケーブルを取付ボックス内部のコードストッパーを使用して脱落しないように止めた後、取付ボックス内部で電源電線と結線しておいてください。また、アース線も引き込み、取付ボックス内部で接続してください。この器具は、D 種接地工事 (第 3 種接地工事) が必要です。必ず電源を切って作業を開始してください。不備がありますと、感電の原因となります。

化粧板を持ち上げ、固定金具でしっかりと締め付けます。